

道路の復旧状況

県管理道路では、9月に発生した豪雨により、地震の影響で通行止めとなっている箇所に加え、新たに最大25路線48箇所が通行止めとなりましたが、国と連携した復旧作業により、現在、通行止めを14路線31箇所まで減少させたところです。

更に、冬への備えとして、除雪作業の支障となる箇所の補修・補強や、除雪体制の強化を図っており、また、まとまった降雪が予想される場合には、計画的な通行止めを伴う集中除雪を実施するなど、国や市町と十分に連携し、交通確保に向け万全を期すこととしております。

道路除雪の取り組み

取組み1 道路の補修・補強

○除雪作業の支障となる箇所の補修・補強

除雪業者と道路を合同で点検し、

- ・幅が狭くなっている箇所の拡幅
 - ・段差の解消
 - ・斜面の安全対策
- などを実施

〈除雪業者との合同点検の状況〉



〈県道8号(松任宇ノ気線) 内灘町西荒屋地内における作業状況〉



取組み2 除雪体制の強化

○小型除雪機の導入

- ・被災し道路の幅が狭くなっている箇所の除雪作業のため、従来の除雪機より一回り小さい、小型除雪機4台を新たに導入

○道路監視カメラの増設

- ・奥能登2市2町へのアクセスルートに、道路監視カメラを2台増設

○除雪車への音声ガイダンスシステムを重点導入

- ・段差など障害物に除雪車が近づくと、音声でオペレータに自動で注意喚起する「音声ガイダンスシステム」を、奥能登に重点導入

<音声ガイダンスシステムの概要>



取組み3

計画的な通行止め

○通行止めの概要

- ・大規模に被災し道路線形や路面状況が悪い奥能登では、大雪時には通行に支障が生じる恐れ
- ・他県から多くの方が応援に来られており、冬用タイヤの未装着や、慣れない雪道の運転などで通行に支障が生じる恐れ
- ・長時間にわたる車両滞留を防止し、復旧復興活動を継続させるため、奥能登でまとまった降雪が予想される場合

国や警察などと連携し、計画的な通行止めを実施
集中除雪により短時間で交通開放

○実施予定路線

奥能登2市2町へのアクセス道路

- ・国：のと里山海道(徳田大津JCT～穴水IC)、
能越自動車道(穴水IC～のと三井IC)
- ・県：国道249号、珠洲道路など

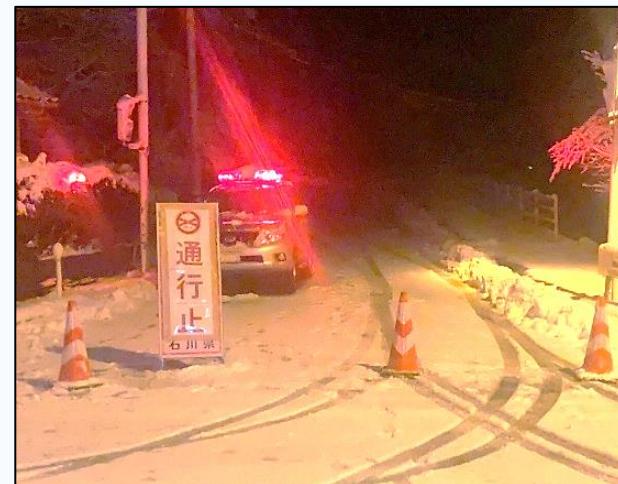
○事前の情報提供

計画的な通行止めの実施にあたり、事前に国と共同で、関係市町、関係機関、被災地の方々などに、テレビや県ホームページ、各種SNSなど、様々な広報媒体を活用し広く情報提供

能登地域における集中除雪の実施路線



<計画的な通行止め及び集中除雪（昨年度の状況）>



国や市町と連携し、冬期の交通確保に向け万全を期す